

令和4年度 山形県立博物館プライム企画展

女神たちの饗宴—「縄文の女神」国宝指定10周年—

記念講演会③

土偶「縄文の女神」が、国宝に指定されてから10周年を迎えます。縄文時代の人びとのくらしや土偶に込めた想いについて、様々な分野の専門家をお招きし、分かりやすくご講演いただきます。

令和4年

11月20日 日 13:30-15:30

会場：山形県立博物館 講堂

講演会に参加される方は、入館料が必要です。

演題・講師

講演① 西ノ前型土偶と縄文時代中期の地域社会

講師：小林圭一氏（山形県埋蔵文化財センター主任主査）

講演② 山形県南部の縄文時代集落と土偶

講師：菅原哲文氏（山形県埋蔵文化財センター専門調査研究員）

講座の内容

「西ノ前型土偶」を共有した山形県の最上・村山地方の縄文時代中期について、集落の構成や遺跡分布の在り方から解説する。多数の土偶を保有した大規模な遺跡とその周囲の遺跡の関係について、拠点となる集落に人々が集まり、土偶を用いた祭りなどを行っていた様子を探る。（小林）

米沢市台ノ上遺跡は、縄文中期に栄えた大規模な集落跡であり、県内最多の270点を超える土偶が出土し、個性的な土偶文化が華開いた。台ノ上遺跡と周辺の縄文集落の様子や、多様な在り方を示す縄文土器や他の祭祀遺物を検討し、当地域の土偶文化の成り立ちを考えてみたい。（菅原）

※当館HPからの事前申込が必要です。

（定員25名程度。11月1日（火）～11月10日（木）の期間に、当館HPの申込フォームからお申込みください。申し込み多数の場合、抽選となります。抽選結果は11月16日（水）までお知らせします。）

お問い合わせ

山形県立博物館 プライム企画展担当

TEL: 023-645-1111

